



基幹病院を核に地域づくりを！

平成12年に「小出病院の老朽化と改築問題」そして「魚沼地域の救急医療体制問題」などの議論が、県議会でされる。平山知事の3選目の公約として「県内どこでも30分以内で、高度救命救急医療を受けられる体制をつくる」と表明して7年…。それが、ようやく具体的に姿を現し始めた。いままで、マスコミ報道でしか見えなかった「基幹病院」が、ここにきて新潟県の考え方が示され、そのフレームが見えてきた。

6月議会で3名が一般質問を、6月30日議会の「魚沼地域基幹病院設置推進特別委員会」が、また7月2日に「地域医療と基幹病院を考えるシンポジウム」等から、基幹病院について考えてみた。

市民・私たちは（利用者）は、いつでもどこでも、ケガをしったり急に頭や胸が痛くなった時、24時間親切に対応してくれる病院（医師）を…。また、風邪を引いたり・体調がくずれた時、気軽に行かれる病院を…。それも近くに欲しい。そして、高度救急医療を兼ね備えた基幹病院も良いが、産婦人科の設置と小児科の充実をと、「命と健康」に係わることだけに要望は多岐にわたる。

今年の1月27日・新潟日報は衝撃（当地域で起きてても不思議ではないから）であった。見出しに「医師半数近く退職へ」「夜間救急停止の恐れ」「入院、診療機能を大幅縮小」とあり、記事の小見出しには「過重な勤務状況が背景！」と阿賀野・水原郷病院のできごとが…。

新潟県は人口当り医師数は全国42位。医師は新潟市には集まるが、魚沼には来ない。何故、医師不足なのかどうしたら医師が来るのか…！それは、一口で表現すると「医師にとって、魅力のある研修・医療ができる病院をつくるー！」

それらのことから、基幹病院の早期の建設（開設目標22年）が求められている。そして、現六日町病院、市立大和・城内病院の機能、役割はー！また、地域の診療所（かかりつけ医）との連携のあり方はー！基幹病院を中心とした、医師・医療のネットワーク等課題は多い。

基幹病院が動き出した今、市民の皆さんと共に「地域医療」について考え、参加することが町・地域づくりにつながる。



シンポジウムを聴講し、私たち市民も考えなくてはと思ったことが、シンポジストの発表にあった。それは、私たち・利用者が①医療現場のゆとりのなさへの理解があったらどうか。②私たち利用者は、病院・医師（先生）へ過度の依存・甘えは無かったらどうか。③私たち利用者は、利用を減らすための自助努力（健康づくり）をしていたらどうか。



'06.6.29 読売新聞記事より

一般質問

本議会初日に、3月議会で、「森林林業振興について」一般質問しました。その「山林が荒廃している現状」の資料の配布有り難うございました。その資料を見て、梅雨時期に入り、集中豪雨の災害が発生しないことを、祈らずにはられませんでした。

それでは、先に通告致しました、2点について市長に質問いたします。

大和町史発刊について

最初に大和町史発刊について伺います。

ちょうど一年前になりますが、7月8日に、奉納舞「翁式三番」の大崎郷土芸能振興会の皆さんと、「若宮八幡宮神楽舞」の一村尾保存会の皆さんと、浦佐裸押合い大祭の、3団体の関係者が初めて一堂に会しました。

それは、南魚沼市と大きくなり、合併し、財政難で郷土芸能とか文化財等がおそろかになるのではないかと、不安からです。10人集まりました。名前も「大和地域文化財保存連絡会」としました。

今日まで世話人会を6回、「たより」を会員向けに10回発行しました。主な活動として、昨年は7月22日に新潟県文化財審議会会長の星野紘氏を囲んでの「文化財の勉強会」を、11月25日には忘年会を兼ねて「文化財を語る懇親会」を開催しました。

それらの活動を通じ、私たちは、次の世代に、確実にこの文化財や伝統芸能・歴史を記録に残し引き継ぐ事が、南魚沼市の将来の発展のために不可欠と強く思いました。

今、新潟県内で市町村史が刊行されていないのが、合併前の旧111市長村で、粟島村と西川町(現新潟市)と大和町だけです。

「大和町史」は昭和52年に先史・古代の上巻が、平成3年に近世・江戸時代の中巻が発刊されましたが、近・現代の明治以降の下巻は未刊のままです。

子供達が将来この地で生活するとき、地域の生い立ちと先人達の努力とその成果を知りたいと思うときが必ず来ます。又、今、生活している私たちも、先人達の生活や取組みを知ることによって、今を考え、現在および将来にむけて、この地に誇りをもち、勇気と自信がわいてきます。そして、先人達に負けない地域作りと生活の向上をめざすこととなります。

大和町史の刊行は、合併前の7月における大和町議会で、議員の質問に、当時の秋山町長は「六日町体制に準じた編集方法を考えている」と答弁され、六日町との合併の約束事でした。

そこで、市長に3点お伺いします。本議会の市長所信表明の27ページによりますと19年・20年・21年・22年と4年間、現地資料調査および収集作業を行い、23年に上・中巻の補完および下巻の原稿執筆を始め、24年に補完および下巻の発刊となっていますが、机上の計画とならないよう確認の意味で伺います。

二つめは、現在の大和町史は中巻まで刊行されていますが、内容は「大和町史」というよりも「魚沼郡史」的で、一人の方に執筆をお願いしたため、大和町全体を調査した上での記述になっておりません。

そこで提案致しますが、住民を巻き込んだ、市民参加方で作るようにしてもらいたい。その事について伺います。

三つ目ですが、大和町史刊行については、大和の方から早く作ってくれと言う声が出てきたから、六日町史作成の過程の中で、大和町の資料もあるから、とりあえず。部会を立ち上げたことにして、六日町史に付随したかたちで、とりあえずスタートしようというふうに、考える人もいます。私はそうではないと、思っていますが、市長の考えをお聞かせ下さい。



8日	7日	5日	4日	2日	1日	30日	29日	28日	26日	25日	23日	19日	18日	17日	15日	4日	12日	11日	10日	8日	4日	
浦佐地区観光開発委員会	南魚沼市自衛隊協力会設立総会	夏祭り合同会議	地域振興活性化部会シンポジウム	南魚沼市防災訓練	議員全員協議会	別委員会・傍聴	勉強会(農林振興部)	南政・つじクラブ	大和中学評議員会	八色の森公園調整会	新町・川原町ゴルフ大会	三会派勉強会	社会厚生委員会	無形民俗文化財学習会	無形民俗文化財保存編集委員会	無形民俗文化財たより創刊号発刊	6月議会定例会	種村県議事業要望会	田麦山ロードレース大会	(有)ウラコウ早苗り夏祭り代表者会議	つじクラブ勉強会	立総会

〈市長答弁〉

- ①合併の引き継ぎ事項であり、平成24年に上・中巻の補完と、下巻の発刊に向けて、19年度から準備を行う。
- ②調査や資料の収集に市民が参加し歴史に関心を持つことは大切だ。郷土史編さん委員会と連携し進めてもらいたい。
- ③隣接する地域なので、独自の編集委員会は立ち上げなく、六日町町史に取り込み、平行してすすめて行く。議員が心配（同予算で大和町史を作る事）していることが、具体的にでてくれば検討する。



しています。

それは、浦佐駅西を毘沙門堂・普光寺を中心にした歴史あふれる街並みに、浦佐駅東は八色の森公園を核として、田園に広がる病院、田園をキャンパスとした国際大学・北里学園と連携した、新しい街(福祉・健康と学園)を、そして、自然豊かな国定公園越後三山を結ぶ。三つの地域を日本風景街道として結び新たな地域興し、観光資源をスタートさせようとしています。

大和地域の自然・風景・景観のシンボルは八海山と駒ヶ岳です。八海山と駒ヶ岳と調和した町づくりが基本です。

その景観が将来とも継続できるように、そして守れるために、景観条例は必要です。又、人が歩きたくなる街並み、道も看板や色彩等の統一を考えたとき景観条例は必要と思いますが市長の考えをお聞かせ下さい。そして、19年度に「シニック・バイウェイ・ジャパン」日本風景街道の事業が大和地区に採択されますよう、県当局に市長からもお願いすることをお願いして、壇上からの質問を終わります。

『日本風景街道と景観条例制定』について

人が、いや井口市長、あなたが行きたい町、行きたくない町は。又、観光客がいや自分が歩きたくない街並み、歩きたい街並みはどんな道ですか！

駅を降りたら都市計画で道が広がり、その両脇に街路樹ができた歩道のある道と、駅を降りたら狭い道だが、生活のにおいのする昔にタイムスリップしたような街並みの道と、どちらを歩きたくになりますか。

今の道路は、車と人が通るのみで、単にモノ・人を運ぶ機能を有する道具として整備が進められ、その結果街並みは看板や電柱等が氾濫し、美しさ・景観・味わい等のニーズは優先されてきませんでした。

昔は物資や情報は、街道を通じ伝えられ、又、道は祭りや商売・大道芸等を行い、人が集まり遊ぶ生活空間となっていました。

今年の春、3月23日に地域振興局地域整備部の学習会に参加し「シニック・バイウェイ・ジャパン」日本風景街道の話聞いたとき、地域の町の再生はこの事業の導入からだと思いました。当市は年間300万人が訪れる観光地であるが、年々訪れる人が減ってきております。集客力も主にスキー場や温泉・祭り等の単体に限られており、今後の観光振興に限界が見えてきています。

今、塩沢地区では地域住民が中心となり、商店街の「牧之通り」に続いて、駅前通を「つむぎ通り」にしようと、町づくり懇談会がスタート致しました。まさに、国が提案している「日本風景街道」です。

この7月4日に日本風景街道の学習会を浦佐で計画

〈市長答弁〉

①景観条例の制定状況は、都道府県57%・全国の市町村14%、新潟県は湯沢町を含め12市町村が制定してある。いずれの自治体でも条例による景観制定は常に行政主導の限界をかかえてある。

当市は自然が財産で、自然を守る・景観を守ることは大切ですが、規制がかかるので、住民主体で必要性について議論してもらおう。今、行政主導での早急な景観条例制定についてはさしひかえる。

②大和地域の景観も素晴らしいですし、地域住民の皆さんが、一生懸命取組んでいますので、事業採択になるよう、県当局に働きかけをする。

3日	男女共同参画市民設	29日	本町商店会総会	27日	毘沙門天十月会花見	26日	市社協評議員会	24日	係る保護者の会	22日	大樹の会総会	21日	十日町KJ保護者会	20日	浦佐小大運動会	19日	KJ中越地区会	17日	基幹病院の勉強会	15日	南政つづじクラブ勉強会(地域整備部)	14日	天王町の将来都市を 考える会	13日	後援会拡大役員会	11日	裸押合大祭記録保存 実行委員会設立総会	9日	つづじクラブ勉強会	3日	後山ミニ集会	2日	朱鷺の会総会	29日	魚沼菊花展浦佐菊まつり総会	25日	川原町区市政報告会	23日	川原町区市政報告会	17日	春季消防演習	16日	芳友会拡大役員会	16日	商工会浦佐支部総会	14日	本町区市政報告会	13日	会派代表者会議
----	-----------	-----	---------	-----	-----------	-----	---------	-----	---------	-----	--------	-----	-----------	-----	---------	-----	---------	-----	----------	-----	--------------------	-----	-------------------	-----	----------	-----	------------------------	----	-----------	----	--------	----	--------	-----	---------------	-----	-----------	-----	-----------	-----	--------	-----	----------	-----	-----------	-----	----------	-----	---------

活動日誌

●6月議会定例会

平成18年度がスタートし2ヶ月が経過し、6月14日～23日までの10日間の会期で、6月議会は開会される。

執行部より提出された案件は、条例6件・予算5件・その他14件の25件でした。

議会初日は、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、4月・5月に実施された監査結果の報告とたんたと進み、市長の所信表明と続く。そして各委員長より、議会閉会中の事務調査について報告がある。

私の所属する社会厚生委員会は、和田委員長が4/25の現地調査・4/26日の事務調査8件について、報告し質問を受ける。

それから議案の審議に入る。3月定例会の予算議会のような、大きな争点となるような議案は無く、一般質問に25名の議員が登壇し、市長に市政を問いただした。

そして、最終日は、各委員会に付託された請願や議案、発議による意見書の提出について審議し、6月議会は閉会した。

○主な議決事項

- ・一般会計補正予算 5億4490万円の追加
- ・財産の取得（特殊救急自動車）3924万9千円
- ・上町保育園建設工事 1億6275万円
- ・市道の認定 7路線
- ・土地開発公社、しゃくなげ開発公社、スポーツ振興公社の計画

「関常幸後援会」 夏期研修会のお知らせ

●7月30日(日) 越後妻有 大地の芸術祭と浦佐温泉

- ・後援会女性部研修として開催します。
- ・会費は3,000円です。(昼食持参)
- ・マイクロバスで出発は8:30 浦佐温泉着(てじまや)は16:00頃を予定
- ・申し込みは7/25までに、関 トモエ(777-4685)・関 三枝子(777-2245)まで

●8月20日(日) 寺宝展めぐりとバーベキュー大会

- ・市合併記念イベント・無料シャトルバスで回ります。
- ・法音寺、薬照寺、雲洞庵、龍谷寺、普光寺 (拝観料と昼食は持参)
- ・バーベキュー大会だけの参加歓迎。会費は1,000円です。
- ・申し込みは各町内世話人の方にお問い合わせの予定です。

議会傍聴記

浦佐 江口綾枝



若葉会から婦人会、婦人会から朗人会となつて、十年余りが過ぎますと、社会との連なりも年ごとにうすれ、現在はゲートホールと少しばかりの、ボランティア活動が楽しみとなりました。

議会傍聴は、20年前に婦人会の時、参加した事がありました。この頃はあまり関心もなくなっていました。今回は一生懸命応援した、町内の関常幸さんの一般質問がある聞き、仲間6人で六日町の本庁舎に行ってみました。

議場は、もっと立派で広いイメージしか持っておりませんでしたので、一寸ビックリしましたが、かえってそれが、議員相互のつながりと暖かさも感じられました。

常幸さんは、小さい頃からよ

く知っており、町内の花見・生ビール大会・盆踊り等によく一緒にさせていただき、気さくで、積極的で、頑張り屋さんであることは承知しておりました。

浦佐地区に合併前は、議員さんが6名おられました。それが、南魚沼市となり議員は、2名となり、地域も広がり、大変、たろつと案じておりました。今回議会を傍聴し、それぞれの議員がそれぞれの立場で、一生懸命考え、一生懸命頑張っておられる姿を拝見し、頼もしく思いました。

特に印象に残ったのは、市長さんの答弁でした。次々に登壇する、各議員の質問にたじろつ事なく、丁寧に親しみのある話し方は、さすがだと思います。貴重な機会でしたので、少しでも市政の一端を理解したいと思ひ、使い慣れない頭を使い、頑張りすぎてぐつたり疲れしました。

でも、その疲れは議場という、緊張した別世界で過ごす事ができたという、満ち足りた心地よ

●編集後記

これから、夏本番となります。健康にはご留意下さい。

夏と言えば、特産「八色西瓜」です。今年の大雪で、生育を心配していましたが、農家の皆さんの愛情に育てられ、シャリ感の美味しい「八色西瓜」に仕上がりました。どうぞ、美容と健康と夏バテ防止にご賞味ください。そして、お中元にお使い下さい。

7/2の市防災訓練に参加し、市民の生命と財産を守るために、日々努力している活動を知り、改めて感謝すると同時に、災害の無いことを祈つた。

いろいろな意見ありがとうございます。活動日誌はインターネット・ブログに掲載しています。ヤフー「関常幸」で検索してみてください。